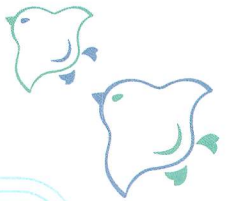


京潮の香り

街なかよりロードサイドにときめく スタイリスタ的古着買いのススメ



新京極や寺町でのショッピングが
とんと面白くない。決してオヤジな
感になった訳でなく、どの店も同じ
ような無難なチャラ系ファッション
ラインナップがやたら目に余るとい
うか、大衆マーケティングなアイテ
ム群には実に食傷気味である。お氣
に入りの、岐阜に本社を置く、今や
全国展開のファッションプラザ「オ
ンセンド」なんぞと同じ仕入れ商品
が街なかで高く売られている日にや、
次世代のファッションも適当な文化
だと、さらあもう激怒もんである。

「Supervy」の志帆ちゃんの60
年代半ばく後半なヒッピースタイル
が、世代的にもいいノスタルジー感
で「そうそう、こんな古着もしっか
りちゃんと売ってよねえー!」と、
すたれた映画館なんぞをコンバージ
ョンした古着屋をチェックすりや、
これまた代わり映えのしないアメカ
ジ構成、地元独自のイケてる古着屋
も少ないとはいえ、この程度の古着
なら名古屋の「大須」で探した方が
遥かにマシだと、「のぞみ」に飛び乗

る始末。この街で好みの服は入手不
可能かと郊外を車で彷徨っていたら、
あるわあるわ、ロードサイドに意外
な穴場がありました。波乗りで鍛え
たこの体?元来、メンズよりボーイ
ズ、ボーイズよりレディースの服が着
られることが自慢の小生。そのメタ
ボでない証しこそが先述の「オンセ
ンド」やはたまた「ファッションセ
ンターしまむら」での特技、暴れ買
い!故に街なかのショッピングより
は郊外型ショップに強い。それらの
店群を見逃すわけが「ごさいません」
1年以上も着なくなった単筒のこや
し服を、どう小金に変えて新しい氣
分をゲットするが、である。

ダンボール箱を積んだ愛車を走ら
せていると、最近目に付くのがリサ
イクル店の大きな看板。最初の動機
は電化製品やDVD、食玩ものや限
定フィギュアでもと軽はずみに立ち
寄ったのがきっかけである。すると
どうでしょう、そんな商品群がメイ
ンの店で、ブランド品や古着がとこ
ろ狭くと並んでいるではありません

か。そればかりか古着に特化したリ
サイクル店まで発掘、ひよつとして
これは結構イケてるかもと、行脚し
始めたのがきっかけです。

最近のお気に入りには新堀川通(=油小路通)沿いは伏見区島津町の
「ZacCabacker」だ。「雑貨はつか
り」な駄洒落的店名がいかにも関西
的だが、確実に持ち込んだ服を小金
に換えてくれる。「京都最大級の大型
古着店」の触れ込みも嬉しい良店だ。
買い取り時は当日のみ有効とはいえ、
誘惑の20%割引券を貰えたり、すぐ
貯まる「売っても買ってもスタンプ
カード」や次回に大発揮の「無条件
買取増券10%UP」などの利益誘
導型販促手段が実に抜けない。倉
庫のようなこの店の中から、ポール
スミスにヒスグラ、ピビアンやトミ
ヨーンズもびつくりの好日である。
ここで軍資金を手に入れたら、お次
の目的地はR24沿いを城陽方面に車
を向け、「お宝創庫」を狙うのがベス
トだ。

南区上鳥羽にお目見えした「のぶ
ちゃんマン」の「リサイクル・オ
フ・宝島」もいいが、まだまだ古着
群が充実しているとは言えず、同じ
新堀は京セラ本社の南横にある「リ
サイクル未来計画Restore Store Sto
re」もいささかビンテージ要素が強い
ので、ここは迷わずお宝創庫であ
る。店頭は無造作に置かれたスベク
タキュラーな恐竜オブジェや、家具
に誤魔化されることなく店内に足を
踏み入れれば、アウトレットな品々
に心を奪われ衝動買い。さらに奥の
洋服群をじっくり見極めるゆとりさ
えあれば、3000円〜5000円代の
わりには実に状態のいいパンツやシ
ヤツに出会うはずだ。もちろんメン
ズよりレディースに掘り出し物多しで
ある。1カ月に1回ほどの割合で顔
を出していれば、ポイントカードも
程よく貯まりご機嫌なショッピング
ウー!!が楽しめる。バラエティに富
む数多なアイテム群の中で、その目
利き度を磨くには格好のトレーニング
場である。



①新堀は「コミックショック」横に颯爽とそびえる「Zac Cabacker」の雄姿。メンズ&レディースのアイテムバランスのよさに加え小物雑貨の充実ぶりが嬉しい。②「CDやDVD、ゲームソフトやおもちゃコミック本の中にその古着の存在感を訴える「Restore Store」③「お宝創庫」はサンガタウンに通うサポーターにも必見!小生の事務所の備品、誕生日プレゼントの購入元はほとんどここである④「お宝創庫」奥の古着コーナー。2Fに上る階段動線も見逃すな!⑤宇治は小倉「ツウハンズ」での戦利品の一部公開!この色目や柄、デザインのセレクトセンスには誰もが脱帽に違いない。ってこの手のアイテムを貪るライバルはまずお目にかかったためしがない。

さていよいよ魔宮の伝説は「ツウハンズ京都宇治店」の冒険である。24号線をそのまま南に向かえば近鉄大久保駅に向けて颯爽と東にハンドルを切り、そこまで来たら今度北に透かさずUターン!いわゆる旧24号線を北に上ること約10分、小倉駅前までまっしぐらである。「レインポー小倉」の建物が見えたなら、大好きな「オンセンド」に脇目も振らず、2Fのリサイクルファッション専門店「ツウハンズ」に猛ダッシュだ。積商面積200坪・2万アイテムを誇るここには本拠地、名古屋に埋もれていたおサイケかつヒッピーなデッドストックがこっそり眠り潜む。ベルボトムやニット系の超可愛い花柄シャツなどのアイテムは、よほどの数寄者でない限り完全ノーマーク、入れ喰い状態の大漁旗もんである。シエイブされたバディと類い稀な欧米ヒッピー世代文化が培われていけばこそ、小生のショッピングセンスは今や他の追従を決して許さない(笑)

モックン・カズロー●京都生まれの京都育ち、生家は染屋という生粋の京都人。現在の「京都CF」の根幹に携わった前編集長。現在は「京都CF」のご意見番を務める傍ら、広告企画制作から同志社大学のプロジェクト講師まで、ジャンルの垣根を越えて京都にまつわる仕事に従事する。趣味のサーフィンより、街場の小波に乗るのが上手いとまっぴらの評判である。「京都CF!」スタッフブログ「ご意見番の無責任、町案内」連載中